

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2026

1月中旬～2月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース (ゆっくり歩いて1時間)
 --- おてがるコース (ゆっくり歩いて30分)



いきもの



ニホンアカガエル(卵) (アカガエル科)
 天敵の少ない冬に産卵するカエル。田んぼや水路の中に卵がないか探してみましょう。そして、オタマジャクシになって動く様子を観察しましょう。



オオムラサキ (タテハチョウ科)
 冬は幼虫の姿で、エノキの木の下で落ち葉の裏に隠れて過ごします。背中突起が4対あることで、ゴマダラチョウと見分けられます。



ゴマダラチョウ (タテハチョウ科)
 成虫は、黒地に白のまじり模様特徴的な蝶。オオムラサキと同じく、エノキの木の下で落ち葉の裏に隠れて過ごします。背中突起は3対です。



ジョウビタキ (ヒタキ科)
 橙色の胸に、灰色の帽子が特徴的。平地や低山の明るい林で暮らす、もっとも身近な冬鳥の一種。



ルリビタキ (ヒタキ科)
 青色が美しい冬鳥の一種。メスや若いオスは目立たない灰褐色をしています。



ヤマコウバシ (葉) (クスノキ科)
 葉は枯れても枝に残り、落ちないので受験のお守りにもされています。



小野新池 (カモなどの水鳥)



切通し東側の草地 (ティピの風景)



ヤブツバキ (ツバキ科)
 ツバキには様々な種類がありますが、自生のツバキといえはヤブツバキのこと。メジロが蜜を吸いにやってくることもあります。



ウメ (バラ科)
 うめ林にはさまざまな品種のウメが植えられています。紅花、白花、八重咲き、一重咲き。お気に入りの木を選んでみてください。



ホトケノザ (シソ科)
 春の七草とよく間違えられますが、現在のホトケノザはこちら。葉の形が「仏の座」に見えることからこの名がつけました。



スズシロ (アブラナ科)



セリ (セリ科)



オギヨウ (キク科)



ナズナ (アブラナ科)



ハコベラ (ナデシコ科)



スズナ (アブラナ科)



スズシロ (アブラナ科)

春の七草

田畑のあせなどで見られます

